

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃとうきょうこんさーつ 株式会社東京コンサーツ		
代表者職・氏名	代表取締役 浅野 紀子		
制作団体所在地	〒 169-0051		
	東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F		
電話番号	03-3200-9755	FAX番号	03-3200-9882
ふりがな 公演団体名	いっぱんしゃだんほうじん れいがくしゃ 一般社団法人 伶楽舎		
代表者職・氏名	代表理事八百谷啓人		
公演団体所在地	〒 160-0012		
	東京都新宿区南元町19-2 千日谷会堂内		
制作団体 設立年月	1969年 3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役社長:浅野紀子 取締役:久保木英紀 相談役:垣ヶ原靖博 監査役:尚邦男	スタッフ:一石鉄哉、斉藤智華子、水町 香、浅野剛、伊藤あみか、鬨目幸司、西村聡美、村石政昭、市村貴絵、豊永泰子	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	西村聡美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	村石政昭

制作団体沿革	昭和44年創立。以後、作曲家・音楽家のマネジメント・演奏会の企画制作を行う。 歴代の所属アーティスト:武満徹、石井眞木、松村禎三、三善晃(以上作曲)、岩城宏之、若杉弘(以上指揮) 他 現在の所属アーティスト:湯浅譲二、一柳慧、池辺晋一郎、新実徳英、猿谷紀郎、権代敦彦、望月京、杉山洋一、原田敬子、金子仁美、伊左治直、岸野末利加、坂東祐大、藪田翔一(以上作曲家)、伶楽舎(雅楽)、松居直美(オルガン)、篠崎史子／木村茉莉／篠崎和子(ハープ)、青柳いづみこ(ピアノ)、安江佐和子(打楽器)、伊藤亜美(ヴァイオリン)、山澤慧(チェロ)、藤元高輝(ギター)、松井慶太／伊藤翔(指揮)、大石将紀(サクソ)、吉村七重(箏)、俵万智(歌人)、堤春恵(劇作家)他 制作公演:サントリーホールサマーフェスティバル(1988～)、東日本鉄道文化財団主催駅コンサート、旧奏楽堂日本歌曲コンクール、個人のリサイタル等 2016年にはコンサート・練習スペースである「トーキョーコンサーツ・ラボ」をオープンし、会場の運営業務・自主制作の公演事業も行っている。			
学校等における公演実績	本事業以外における伶楽舎の実績(ワークショップのみも含む) 令和3年度(予定):東大和市立第五小学校、品川区立鮫浜小学校、東京学芸大学付属世田谷小学校、足立区立江北桜中学校、港区立南山小学校、港区立青南小学校、多摩市立南鶴牧小学校、新宿区立大久保小学校 令和2年度:昭和音楽大学、大田区立志茂田小学校、新宿区立大久保小学校、多摩市立南鶴巻小学校、武蔵野市立井之頭小学校、渋谷区立笹塚小学校、小平市立小平第七小学校、荒川区立第六瑞光小学校 平成31年度:東邦音楽大学附属東邦中学校・高等学校、東久留米市立第二小学校、青梅市立成木小学校、東星学園中学校、青ヶ島村立青ヶ島中学校、北区立稲付中学校、北区立浮間中学校、北区立十条富士見中学校、板橋区立桜川中学校、板橋区立上板橋第三中学校 平成30年度:墨田区立中和小学校、杉並区立松溪中学校、荒川区立赤土小学校、四谷第六小学校、あきる野市立御堂中学校、荒川区立第三瑞光小学校、新宿区立西新宿小学校、あきる野市立増戸中学校、練馬区立北町西小学校 他			
特別支援学校における公演実績	本事業における伶楽舎の実績 平成31年度:香川県立善通寺養護学校 平成30年度:島根県立益田養護学校 平成29年度:港区港南中学校(特別支援学級)平成27年度:北海道八雲養護学校、北海道白糠養護学校、北海道旭川養護学校、平成24年度:大阪府立刀根山支援学校 平成22年度:福井県立福井東養護学校 本事業以外における実績 平成31年度:東京都立臨海青海特別支援学校			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/piCVrT2ER9g http://youtu.be/bFPyROiDCOQ	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 伶楽舎 】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	「伶楽舎 子どものための雅楽コンサート」					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	■第1部 雅楽ってなあに？ 雅楽古典曲 管絃「平調音取」「越天楽」、「陪臚」(中学校のみ) 雅楽古典曲 舞楽「陵王」 各学校の校歌[雅楽編曲版](小・中学校)、わらべうた(小学校のみ) ■第2部 日本昔ばなしと雅楽 小学校＝語り付き創作雅楽作品 昔ばなしと雅楽「ボン太と神鳴りさま」(芝祐靖作曲・脚本) 中学校＝語り付き創作雅楽作品 雅楽童話「ききみみずきん」(東野珠実作曲・脚本) 公演時間(90 分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	■第1部 雅楽ってなあに？(45分) ①雅楽の楽器の音をきいてみよう(楽器紹介)②唱歌(しょうが)で「越天楽(えてんらく)」をうたってみよう③演奏をきいてみよう④舞楽をみよう⑤雅楽で他の曲もきいてみよう 以上の5つのコーナーを通して、日本の伝統音楽「雅楽」がどのようなものかを知ってもらいます。楽器の名前や特徴を覚え、雅楽の代表的な「越天楽」のメロディーを覚えさせます。雅楽の勉強は「唱歌」を歌うことから始める、という雅楽独特の習得法も知ってもらいます。豪華な装束や面をつけた舞楽の動きの特徴を覚えてもらいます。 ■休憩(5-10分) ■第2部 日本昔ばなしと雅楽(30分) 「ボン太と神鳴りさま」＝主人公が雲の上で雷さまに会う、というストーリー。 「ききみみずきん」＝不思議なずきんをかぶると、鳥や動物の声が言葉となって聞こえてきて・・・。					
演目選択理由	■第1部 管絃の「越天楽」は、最もよく知られた雅楽古典曲で、小中学校の教科書にも取り入れられていることから選曲。初めて雅楽を聴く人に一番に知ってもらいたい曲。中学校公演では「越天楽」以外の曲も知ってもらうため、「越天楽」との違いが分かりやすい「陪臚」(はいろ)も取り上げる。現代と古典との距離感を少しでも縮め雅楽に親しむを感じてもらうため、また、雅楽楽器の可能性を知ってもらうため、子どもたちがよく知っている校歌を雅楽楽器で演奏する。舞楽は動きのある一人舞を選択。これまで「還城楽」「陵王」「胡飲酒」を上演しており、令和四年度は「陵王」を上演。 ■第2部 雅楽の様式化された曲調やテンポは、現代の子どもたちが日常接している音楽とはかなり異なっているため、長時間、古典だけを聴くのでは飽きてしまう。そこで、第2部では物語の展開を楽しみながら、知らず知らずのうちに雅楽の響きに親しむことができるように創られた特別な雅楽作品を上演。芝祐靖脚本、作曲「ボン太と神鳴りさま」は、古典の響きをベースに、効果音の全てまで雅楽楽器で表現した作品で、これまで全国各地、海外の小学校でも上演した子供のための雅楽の傑作。子どもだけでなく雅楽を初めて聴く大人(保護者)にも雅楽入門に適した作品。中学生の公演では、今回は、初めて、東野珠実脚本作曲の「雅楽童話 ききみみずきん」を取り上げる。不思議なずきんをかぶると、鳥や動物の声が言葉となって聞こえる、というよく知られた物語を、雅楽の古典的奏法を駆使し、かつ、新しい表現を加えた作品で、楽器による動物の声の描写や、皆で歌える歌謡あり、と多彩な内容で、大変楽しめる作品である。雅楽の伴奏で歌う「ききみみずきん」の歌は、ワークショップで楽譜を渡し、本公演で子供達にも一緒に歌ってもらうことが可能で、これによって、雅楽に一層の親しみを持ってもらえるものと思う。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	●ワークショップでは、洋楽で使われる五線譜ではなく雅楽の縦書きの楽譜を見ながら、雅楽の楽器の伝統的な習得法である「唱歌」を、拍子を取りながら一緒に歌う。雅楽のリズムパターンや打ち方を知るために打楽器の打ち方を指導者の動作を真似て一緒に行う。舞楽の舞の振付の1つか2つを実際に身体を動かして覚え、舞楽の舞の特徴を知る。管楽器3種と打楽器3種を実際の楽器で体験する。(コロナ禍でなければ、管楽器3種についても実際の楽器で体験を行っていたが、現在は、歌、打楽器と舞のみとしている。) ●本公演では、ワークショップで学んだ「唱歌」を復習し、「越天楽」のメロディーをしっかりと覚える。ワークショップで打楽器を体験した児童生徒の代表者が舞台にあがって、「越天楽」の演奏に参加する。わらべうたや校歌を雅楽楽器の伴奏で歌う。					
出演者	笙3、箏3、龍笛3、琵琶2、箏2、羯鼓、太鼓、鉦鼓、無人、語り 計18名 【出演予定メンバー】伊崎善之、石川 高、五月女愛、笹本武志、ノ野護元、北村茉莉子、田口和美、田島和枝、谷内信一、田淵勝彦、角田眞美、東野珠実、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、三浦礼美、宮丸直子、村岡健一郎、國本淑恵					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 18 名 スタッフ: 2 名 合 計: 20 名		機材等 運搬方法		積載量: 0.7 t 車 長: 4.7 m 台 数: 1 台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		1.5～2 時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	10時	10時～12時	13時～15時	5-10分	15時～16時	16時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	100名程度(楽器体験可能人数は100名程度ですが相談に応じます)				
	本公演	制限はありません				
ワークショップ 実施形態及び内容	●全員を対象とした解説と体験 ①雅楽の歴史を短く説明。楽器について説明する。 ②雅楽の学習の基本である「唱歌」のやり方を体験する。③打楽器の打ち方を指導者の動作を真似てやってみる。④舞の所作を体験する。 ●グループに分かれての体験 ⑤管楽器(笙・箏・龍笛)と打楽器(鞆鼓・太鼓・鉦鼓)のグループごとに楽器を体験する(楽器数に限りがあるため、体験できる人数は100名程度。ただし、他の児童生徒にも分かるように、皆に見せながら指導する)※コロナ禍においては打楽器のみの体験としている。⑥他の児童生徒の唱歌に合わせて、打楽器体験の代表者が打楽器を演奏する。					
ワークショップ 実施形態の意図	雅楽は、現代の子どもたちになじみのないジャンルであることから、まずは全員に向けて、雅楽の歴史や楽器の形・素材・響きについて説明する。情報量は小学校と中学校では多少異なるが、一方的な講義にならないよう、楽器の持ち方や演奏の仕方を説明する時には、子どもたちに真似をしてもらう。子どもたちが身体を動かす、声を出す、といった「動作」を説明の間に取り入れて、飽きさせない工夫をしている。楽器体験では、ただ音を出すのではなく、雅楽の作法も同時に教える。箏や龍笛は大人でも音を出すのが難しい楽器であるが、音が出た時の喜びを感じ、上手に演奏できるようになるまでには修練が必要であることも理解してもらいたい。					
特別支援学校での 実施における工夫点	基本的には一般校と同じプログラム。ただし、ワークショップの楽器体験では、子どもたちの状況に応じて、通常床に座って演奏する打楽器を子どもたちの高さまで持ち上げて叩いてもらう、などの工夫をしている。舞の体験も、先生と相談しながら、それぞれの状態でできる範囲で参加してもらっている。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

● 伶楽舎の紹介

伶楽舎は日本の伝統音楽「雅楽」の演奏と研究のために1985年に芝祐靖が創設した雅楽演奏団体です。創設以来、音楽監督を芝祐靖(1935-2019、平成29年度文化勲章受章)が務めました。現在約30名の演奏家たちが活動を行っています。伶楽舎は、昔から現在まで伝わる雅楽の古典曲以外にも、現代の作曲家が作曲した新しい雅楽作品や、長い年月の間に演奏法がわからなくなってしまう作品(廃絶曲)、また、正倉院に残されていた楽器を復元しての演奏など、古いものから新しいものまで、幅広く取り上げて演奏しています。日本を代表する作曲家・武満徹の雅楽作品「秋庭歌一具」の演奏では中島健蔵音楽賞 特別賞を受賞、そのCDは文化庁芸術祭レコード部門 優秀賞(平成14年度)を受賞。「秋庭歌一具」と「露台乱舞(芝祐靖 復曲・構成)」を演奏した「第13回雅楽演奏会」で2016年度佐治敬三賞を受賞。他に、雅楽の古典曲や復元楽器の曲など多数CDに録音しています。また、伶楽舎の企画による自主演奏会では、新しい作品の初演や大曲の演奏などに積極的に取り組んでいるほか、解説を交えた親しみやすいコンサートや小中高校生を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなども行っています。国内各地の他、アメリカやヨーロッパなどからも招かれて何度も演奏しており、日本の雅楽を世界に広める役割を果たしています。

【令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業― 出演者】

伊崎善之、石川 高、岩亀裕子、國本淑恵、北村茉莉子、五月女愛、菅本武志、夕野護元、鈴木絵理、山口和美、なはせあかり、武智和子、田島和枝、田淵勝彦、谷内信一、角田真美、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、三浦礼美、宮丸直子、村岡健一郎、八木千晴

● 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」<邦楽公演> 雅楽 実施日程

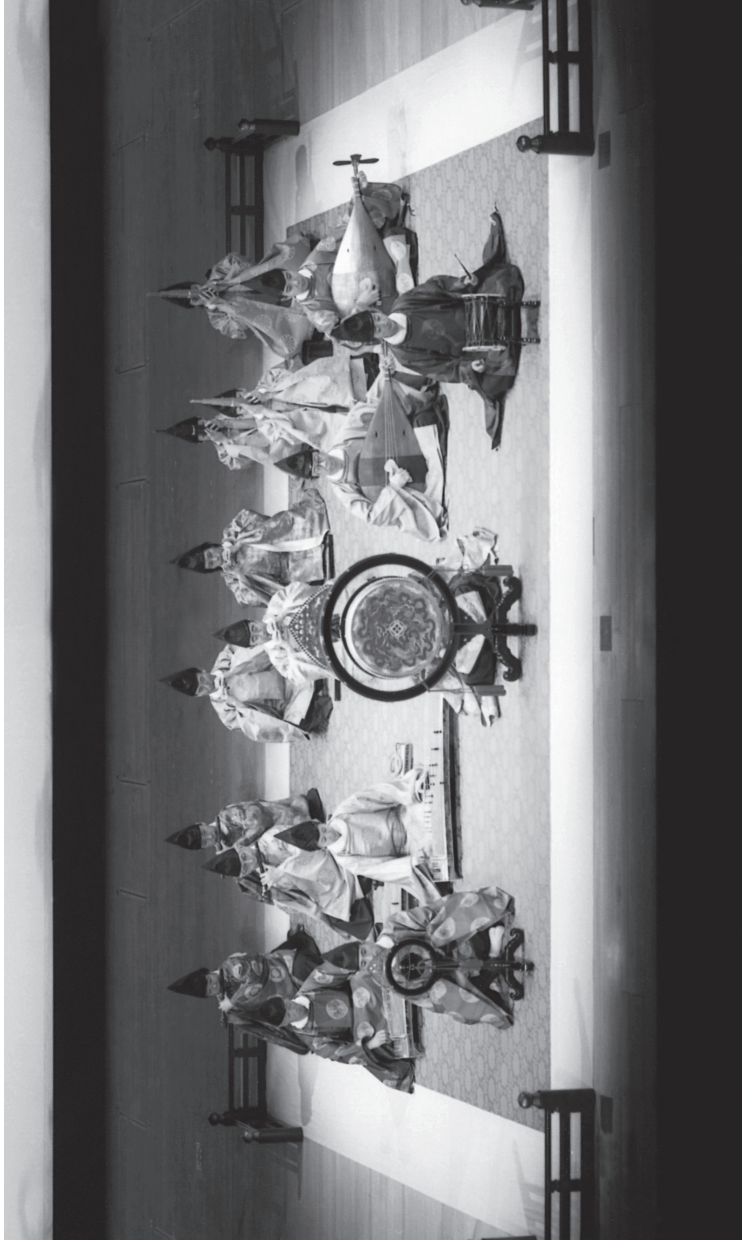
実施日	実施校	プログラム
9月22日(水)	町田市立 金井小学校	A
10月19日(火)	江戸川区立 鹿骨東小学校	A
10月20日(水)	千葉市立 相丘小学校	A
10月22日(金)	千葉市立 相毛小学校	A
10月27日(水)	田吹市立 石和東小学校	A
10月28日(木)	北杜市立 泉中学校	B
11月 1日(月)	三鷹市立第七小学校	A
11月 4日(木)	江戸川区立 一之江小学校	A
11月 5日(金)	学校法人 東星学園小学校	A
11月 8日(月)	東大和市立第三小学校	A
11月17日(水)	南房総市立 富浦中学校	B
11月18日(木)	九十九里町立 片貝小学校	A
11月19日(金)	館山市立館山小学校	A

国際音楽の日

知っていますか? ～10月1日は「国際音楽の日」です～
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度
文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―

雅楽「伶楽舎」
〈邦楽公演〉



「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F85	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人 伶楽舎				制作団体名	株式会社 東京コンサーツ			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	3室	条件		着替えに使用するため、カーテンまたは目張りが必要			可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台	大型バス	1台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン				不可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可	
	搬入経路の最低条件			大型乗用車が一台止められるスペースと、搬入経路に屋根があること(仮設可)				可	
	理由			楽器搬入のため					
	設置階の制限 *			問わない				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8		高さ	1.8	可	
WSIについて	参加可能人数		90名程度					可	
	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *					
	所要時間の目安 単位:分		90分程度					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			特になし				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	7m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			可	
		舞台袖スペースの条件 *			左右併せて出演者18名が待機できるスペース			可	
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—	
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				—
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—	
		ピアノの事前調律 *		不要			—		
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量			特になし	※主幹電源の必要容量			—	
	その他特記事項							応相談	
移動で使用するバスは、公演中に留め置き出来る事が望ましい							可		
控え室用の部屋は10名程度が入る広さならば、合計2部屋でも可能							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8	高さ	1.8
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

